

**平成 28 年度  
個人の S D 宣言  
(事務職員)**

## 平成 28 年度個人のSD宣言

[氏名 野崎 豊子]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>		
① 工事期間中の適正な教育環境の整備・提供 ② 明るく・やさしく・スピーディーな対応 ③ 業務の改革・改善の積極的な推進		
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。		
⑦ 工事関係者との連絡調整を密にし、学生・教職員へ工事内容の周知を図る。 ② 学生への積極的な声かけと、学生参加行事へ参加 ③ 業務の見直し		
<b>評価基準 (C)</b>		<b>評価結果</b>
⑪ 新校舎完成後の状況に応じた改善ができて	「3」	1 2 ③ 4
⑫ 工事関係者との会合が適宜実施できて	「3」	1 2 3 ④
⑬ 学生の顔と名前を50人以上覚え、声かけができて	「3」	1 2 3 ④
⑭ 卒業時の満足度が前年度よりアップして	「3」	1 2 3 4
⑮ 業務の改革・改善ができて	「3」	1 2 ③ 4
⑯ 学生募集への具体的な取り組みができて	「3」	1 2 ③ 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>		
① 実際使用していく中で、計画段階では予想できなかった不具合や使い勝手が悪い部分について、その都度業者と連携をとりながら対応することができた。 ② 最終的に、総合定例会議を32回、定例会議を43回開催した。会議だけでなく毎日のように連絡調整を行い、スムーズに工事が進んだ。 ③ 目標にしていた人数より多くの学生の名前を覚え、声かけができ、声もかけてもらえた。 ⑤ 課題や改善策が見つかった際に、付箋にメモし、次年度につなげるようにしている。 ⑥ 奨学金の提案等、社会の変化に応じた方策について改善ができた。		

## 平成 28 年度個人のSD宣言

[氏名 ウォーカー 祐貴子]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 入試広報部メンバーがそれぞれの職務をスムーズに遂行できるよう、早め早めの計画立案・情報共有・目配り気配りを行う。 ② 学生の名前を覚えることに努め、自分から進んで声をかける。 ③ 本学のポジショニングおよび狙う高校生層に合致した学生募集戦略を立てる。	
<b>行動目標 (D)</b>	
① 毎週金曜日朝 30 分の業務連絡会を行う。 ② 名前と呼べる学生を 30 名つくる。1 日 1 名を目標に声をかける。 ③ 地域性 (遠方には住居や周辺環境)、希望進路 (保育士、企業) など、それぞれのニーズに合った情報発信に努める。	
<b>評価基準 (C)</b>	<b>評価結果</b>
① 毎週の業務連絡会が概ね実施できて評価 3	1 2 ③ 4
② ホームページ、SNS、プレスリリースがタイムリーに行えて評価 3	1 2 ③ 4
③ 計画に従い資料発送・ダイレクトメール発送ができて評価 3	1 2 ③ 4
④ 30 名の学生の名前を覚えて評価 3	1 2 ③ 4
⑤ 適宜広報媒体、業者別効果を確認して評価 3	1 2 ③ 4
⑥ ⑤の結果を部内で共有し学生募集活動に活かして評価 3	1 2 ③ 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
大学との合同部門として時間の許す限り部内連絡会を開き情報共有を図るように心がけ、学生募集活動に活用した。来年度も継続したい。学内の情報発信をより頻繁に行うためにも引き続き学生との接点をもつよう努めたい。これまでの紙、ネット媒体に加えて今年度から SNS を本格的に始動したが、それぞれの強みを生かした発信をより計画的に行う必要がある。また、効果測定が十分行えるよう資質向上に努力したい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 田村 司]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 入試広報部職員の連携のもと、効率的・効果的に業務を推進し、入学者の確保に努める。 ② 日常的に挨拶や声かけを行い、学生との距離感を縮める。 ③ 最大の目標である定員充足を図るための取り組みを積極的に推進する。	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 高校訪問や入試相談会、進学ガイダンス等において、本学の教育理念や指導方針、充実した教育環境等の魅力を伝えるとともに、本学に対する理解を深め、入学希望者の増加に繋がるようにする。また、高等学校教員の本学に対する認識と理解を深め、進学指導に生かしてもらおうようにする。 ② 笑顔での挨拶に努めるとともに、気になる学生についてはしっかりと声かけを行う。 ③ 学校訪問やオープンキャンパス等を全教職員で推進する体制の充実に努める。	
<b>評価基準 (C)</b> ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。  年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 計画的に業務が推進できて「3」	1 ② 3 4
② 日常的に積極的に挨拶ができて「3」	1 2 ③ 4
③ 入学者が定員を越えて「3」	1 2 ③ 4
④ 高校の進路指導担当者説明会の出会者が昨年を上回って「3」	1 2 ③ 4
⑤ オープンキャンパスに参加した生徒や保護者が昨年を上回って「3」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
・業務内容の把握に努め、先を見通した計画的な推進に努める。 ・オープンキャンパス参加者、入学者の増加に向けて効果的な高校訪問を更に工夫する。	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 森山 裕文]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 本館校舎補強工事等に係る学生・教職員の安全確保を第一に考えた施設の維持・管理に努める。 ② 学生に名前を覚えてもらう。 ③ スクールバスの購入から円滑な運用に向けた企画・調整に取り組む。	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 業者との定例会議等連絡を密に取り、必要な情報提供を行う。 ② 名札着用を継続し、学生の名前を呼んで言葉かけを行う。 ③ 業者選定、担当職員の採用に加え、必要な運転免許を取得する。	
<b>評価基準 (C)</b> ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。	評価結果
年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	
① 事故無く工事が終了して「3」	1 2 ③ 4
② 50人以上の学生から名前を呼ばれるようになって「3」	1 ② 3 4
③ 運転免許が取得でき、円滑なスクールバスの運行ができて「3」	1 2 ③ 4
④	1 2 3 4
⑤	1 2 3 4
⑥	1 2 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
・今年度同様に、学内イベントへの参加を心がける。	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 河野 豪]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 迅速且つ正確な業務遂行を行う。 ② 既成概念にとらわれない柔軟な発想で職務にあたる。 ③ 職員としての強い自覚を持ち、積極的に職務にあたる。	
<b>行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。</b>	
① 履修指導等、的確な指導に努める。 ② 学生の意見に耳を傾け、適切で誠実な対応を心掛ける。 ③ 教員と連携して、退学者防止に努める。	
<b>評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。</b>  年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 的確な履修指導が自己評価80点で評価3	1 ② 3 4
② 適切で誠実な対応が自己評価80点で評価3	1 2 ③ 4
③ 教員への学生データを適時に提供できて評価3	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
問題のある学生に対する細かい指導を心掛けたが、残念ながら卒業延期者を出した。  これを教訓として、学級主任との情報交換をさらに密にして行く。	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 古谷 百合子]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 各部署と連携をとりながら迅速な処理を心がける ② 各行事に参加し、学生への挨拶、声掛けを積極的に行う。 ③ 本学の募集活動に貢献できるよう努める。	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 提出書類等の再確認を含め、常に要項等を確認し業務にあたる。(科学研究費等) ② 常に名札を着用し、明るく元気に声掛けができるよう心がける ③ 情報の収集に努め、外部にPRする。	
<b>評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。</b>  年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 先ずは、学友会の学生の顔と名前を一致できて「3」	1 2 3 ④
② 各行事に積極的に参加できて「3」	1 ② 3 4
③ 姉妹校のHPを常に確認できて「3」	1 2 ③ 4
④ 大学ポートレイトの更新に努めて「3」	1 2 ③ 4
⑤ 外来者の対応が適切にできて「3」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
・職員間では、各部署と連携し処理することができた。学内の行事については、積極的に参加することができずに反省している。(来年度課題)・来年度は科研費の獲得に向けて慎重に取り組みたい。	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 田村 広美]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 日々の業務を適正に行う ② 学生の名前と顔を覚える ③ 就職率100%を目指す	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 業務内容の把握 ② 多くの学生と面談し、就職支援に活かす。 ③ 情報発信を早めに行い、担当教員との連携を図る。	
<b>評価基準 (C)</b> ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 日々の業務を支障なく行えて「3」	1 ② 3 4
② 個別面談が、全体の70%以上できて「3」	1 2 ③ 4
③ 求人依頼活動が、300件以上できて「3」	1 2 ③ 4
④ 2月末までに就職内定率が、85%以上で「3」	1 2 3 ④
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
日々の業務については、追われてばかりでゆとりを持つことができなかった。 今年度は、求人の数も多く2月末には90%を越す就職内定率となった。次年度以降も維持できるよう、学科や学級主任との連携を図り、細やかな支援を心掛けたい。	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された



## 平成 2 8 年度個人の S D 宣言

[氏名 新見 正美]

<b>個人の S D 宣言 (P)</b>	
①正確・迅速な事務処理の遂行 ②学生が入室しやすい事務局 ③学園の PR	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
①実習係業務内容の把握 ②学生が理解しやすい説明・案内をする ③他学校・本学行事に参加する	
<b>評価基準 (C)</b> ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
①各部との連絡調整より正確な事務処理ができて「3」	1 2 ③ 4
②文書基準に基づいた文書保管ができて「3」	1 2 ③ 4
③学生・保護者・来客対応が明るく適切にできて「3」	1 2 ③ 4
④学生に声をかけ、学生から声をかけられて「3」	1 2 ③ 4
⑤他の学校見学に参加し報告できて「3」	① 2 3 4
⑥学園の PR 発信できて「3」	① 2 3 4
①については、昨年度の起案文書を常に確認しながら、正確な事務処理を努めた。 ②については、気になる学生について、理解できているかを確認し、手続き等が完了するまで連絡調整をした。 ③については、本学のイベントのみの参加しかできなかった。来年度は学生募集に繋がるイベント等に参加するようにしたい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

## 平成 2 8 年度個人の S D 宣言

[氏名 津曲 肇]

<b>個人の S D 宣言 (P)</b>	
①・・・正確で迅速な業務の遂行 ②・・・わかりやすく、正確な連絡説明の実現 ③・・・学園の P R	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
①成績、入試、授業管理等に関する業務内容の迅速で正確な計画、取りかかり、遂行、記録 ②学生が理解しやすく正確な説明、掲示、連絡 ③日常での本学の P R	
<b>評価基準 (C)</b> ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。  年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 各部と連絡調整し正確な事務処理が出来て「3」	1 2 ③ 4
② 業務の迅速な計画、取り掛かり、実行、記録保管ができて「3」	1 2 ③ 4
③ 掲示内容に間違いが無ければ「3」	1 2 ③ 4
④ 学生・保護書・来客への対応がうまくできて「3」	1 ② 3 4
⑤ 学生への連絡がスムーズに遅滞なくできれば「3」	1 2 ③ 4
⑥ 日常の中で学園についてなにかしら P R できれば「3」	1 ② 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
① 教務の業務については教務で協力、連絡し合って早めに取りかかることができ、間違いなどもできるだけ少なくすんだと思う。 ② 学生への連絡を掲示板、ポータルサイトで行っても、学生が見ていないことが多く感じた ③ 日常生活の中で本学を P R する機会があまりなかった。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

## 平成 2 8 年度個人の S D 宣言

[氏名 藁部 初]

<b>個人の S D 宣言 (P)</b>	
① 新校舎建設・本館改修に併せて備品を整理する。 ② 学生の顔と名前を覚え、自分自身の名前も覚えてもらえるようにする。 ③ 外部資金を獲得できるよう積極的に申請する。	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 新規購入した備品の登録と、棄却した備品をまとめ正しく処理する。 ② 備品すべてに備品管理シールを貼る。 ③ 自ら積極的に学生に話しかけ、学生の名前を 20 人以上覚える。 ④ 昨年度よりも多くの資金を獲得できるよう、申請する。	
<b>評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。</b>  年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 新規購入したすべての備品登録ができて「3」	1 2 ③ 4
② 備品台帳と備品の整合性が取れて「3」	1 2 ③ 4
③ 学生の名前を 20 人以上覚えて 「3」	1 2 ③ 4
④ 昨年度よりも多くの補助金が獲得できて 「3」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
新規購入した備品については登録が完了しているのだが、過去に購入された備品で不明なところもあったので、来年度整理していきたい。補助金については来年度教育活性化設備整備事業の獲得が難しいため、他の補助金で獲得できそうなものを挑戦していきたい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

## 平成 28 年度個人の F D 宣言

[氏名 青井 京子]

<b>個人の S D 宣言 (P)</b>	
④ 正確な業務 ⑤ 笑顔で接する。 ⑥ 学校の P R に勤める	
<b>行動目標 (D)</b>	
① 確認をする ② 元気な挨拶 ③ 知人などに声をかける	
<b>評価基準 (C)</b>	<b>評価結果</b>
① 間違いがなくて	1 2 ③ 4
② 声かけができて	1 2 3 ④
③ アピールができて	1 ② 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
学生の名前で声をかけると喜んでもらえるので 1 人でも多くの学生の名前を覚えたいと思います。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 兼佐 麻友美]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
①正確で迅速な業務の遂行 ②学生と積極的に交流する ③本学のPRに努める	
<b>行動目標 (D)</b> それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
①関連部署、先生方と報告・連絡・相談を密にする。 ②学生の顔と名前を覚え、声掛けを積極的に行う。 ③学内外での行事に積極的に参加する。	
<b>評価基準 (C)</b> ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。	評価結果
年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	
⑥ 関係部署の担当者と連携し、計画的な業務遂行ができたなら「3」	1 ② 3 4
⑦ 就職指導課に相談をしに来た学生の顔と名前を6割覚えられたら「3」	1 2 ③ 4
⑧ 学生の入学満足度を意識して業務に取り組めたら「3」	1 ② 3 4
⑨ 学内外の行事に3つ以上参加して「3」	1 ② 3 4
1 2 3 4	
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
今年度は新しい業務（保育士修学資金）を、計画性を持って遂行することができなかった。 来年度の課題だと考えている。 学生とのコミュニケーションに関しては、一定の距離を保つように心がけている。	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 吉井 真也]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 効果的な学生募集に努め、入試広報部全員一致協力して業務に携わる。 ② 広報に理解を示してもらえよう、積極的に学生との交流を行う。 ③ 定員充足率 100%を目指し、本学の建学の精神を積極的に広報する。	
<b>行動目標 (D)</b>	
① ホームページ、SNS を積極的に活用し、本学の教育特色を発信する。 ② 明るい笑顔、元気な声でのあいさつを実践し、学生との距離を縮める。 ③ 高校訪問、ガイダンス、入学相談、各種進学説明会等に積極的に参加する	
<b>評価基準 (C)</b>	評価結果
① ホームページ、SNS での確かな情報発信することができて 「3」	1 2 ③ 4
② 全職員に入試広報に関する情報の提供と共有化を図ることができて 「3」	1 2 ③ 4
③ 自分から積極的にあいさつ、声かけができて 「3」	1 2 3 ④
④ 高校訪問で進路指導部の先生方との信頼関係が築けて 「3」	1 2 ③ 4
⑩ 建学の精神[礼節と勤労]に裏付けられた本大学のよさや先輩達の活躍の様子を高校生、保護者に理解してもらおうよう広報活動することができて 「3」	1 2 ③ 4
⑪ 定員充足率が 90%以上で 「3」	1 2 3 ④
<b>評価結果に基づく改善方法の策定(D)</b>	
ホームページでの情報発信はある程度達成できているが、SNS の利用についてはまだ努力の必要がある。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

## 平成28年度個人のSD宣言

[氏名 恵利 有子 ]

<b>個人のSD宣言 (P)</b>	
① 健康診断、調査や検査等を計画的に実施し、事後処理及び報告を適格に行う。 ② 学生が心身ともに健康な学校生活を送れるよう助言や指導を行う。 ③ 学生が充実した学校生活を送れるようにサポートする。	
<b>行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。</b>	
① 前年度の計画に基づき、検診・検査の実施、事後処置、結果報告まで効率よく行う。 ⑧ 救急処置や健康相談活動に関する専門性を高めるとともに、スクールカウンセラーや関係機関との協力・連携を図り、学生への支援を行う。 ⑨ 出入口を開放し、積極的に学生と関わるように努力する。	
<b>評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。</b>  年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 検診等の実施を計画的に行い、期日内に事後措置ができたなら「3」	1 2 ③ 4
② 学生一人ひとりの状況を把握し、適切な対応ができたなら「3」	1 2 ③ 4
③ 関係者との連携を取り、学生への対応ができたなら「3」	1 ② 3 4
④ 実習前の検査提出が最終日までにできたなら「3」	1 2 ③ 4
⑤ 実習前に健康診断証明の発送、腸内細菌検査結果の配付ができたなら「3」	1 2 3 ④
⑥ 適切なアドバイスや情報の提供ができたなら「3」	1 ② 3 4
<b>評価結果に基づく改善方策の策定 (A)</b>	
○ 学生の名前をできるだけ早く覚え、コミュニケーションをとるよう積極的にいき、よりよい信頼関係を築き適切なアドバイスができるようにしていきたい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された